

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年5月2日 (2013.5.2)

【公開番号】特開2012-136533(P2012-136533A)

【公開日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2012-32313(P2012-32313)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/04 (2006.01)

A 0 1 N 25/30 (2006.01)

A 0 1 N 43/40 (2006.01)

A 0 1 N 31/14 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 31/045 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/14 (2006.01)

A 6 1 K 31/25 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/185 (2006.01)

A 2 3 L 3/349 (2006.01)

A 2 3 L 3/358 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 25/04 1 0 1

A 0 1 N 25/30

A 0 1 N 43/40 1 0 1 K

A 0 1 N 31/14

A 0 1 P 3/00

A 0 1 P 1/00

A 6 1 P 31/02

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 31/045

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 31/14

A 6 1 K 31/25

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 31/185

A 2 3 L 3/349 5 0 1

A 2 3 L 3/349

A 2 3 L 3/358

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月15日 (2013.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

水中油型乳剤を含む組成物であって、該水中油型乳剤が

a) 水；

b) 油；

c) アルコール；

d) ポリソルベート界面活性剤である、界面活性剤；および

e) 陽イオンハロゲン含有化合物

を含む、組成物。

## 【請求項 2】

水中油型乳剤が

a) 水；

b) 油；

c) モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(ツイーン20)およびモノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(ツイーン80)からなる群より選択される、界面活性剤；および

d) 陽イオンハロゲン含有化合物

を含む、請求項 1 記載の組成物。

## 【請求項 3】

油が植物油、魚油、香味油、水不溶性ビタミン、および鉱油からなる群より選択される油を含む、請求項 1 または 2 記載の組成物。

## 【請求項 4】

植物油が大豆油、アボガド油、亜麻仁油、ココナツ油、綿実油、スクアレン油、オリーブ油、キャノーラ油、トウモロコシ油、菜種油、サフラワー油、およびヒマワリ油からなる群より選択される、請求項 1～3 のいずれか一項記載の組成物。

## 【請求項 5】

水中油型乳剤が

a) 約 64 容量 % の油；

b) 約 8 容量 % のエタノール；および

c) モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン(ツイーン20)およびモノオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(ツイーン80)からなる群より選択される、約 5 容量 % の界面活性剤；

d) 約 1 容量 % の塩化セチルピリジニウム；及び

e) 水

を含む、請求項 1～4 のいずれか一項記載の組成物。

## 【請求項 6】

組成物が水中油型乳剤の希釈液を含む、請求項 1～5 のいずれか一項記載の組成物。

## 【請求項 7】

希釈液が 10 %、1.0 % または 0.1 % 希釈液である、請求項 1～6 のいずれか一項記載の組成物。

## 【請求項 8】

感染に対して保護するための医薬の製造における、請求項 1～7 のいずれか一項記載の組成物の使用。

## 【請求項 9】

細菌病原体により引き起こされる疾患、ウイルス病原体により引き起こされる疾患、および真菌病原体により引き起こされる疾患からなる群より選択される疾患の治療における使用のための請求項 1～7 のいずれか一項記載の組成物。

## 【請求項 10】

細菌病原体がグラム陰性菌である、請求項 9 記載の組成物。

## 【請求項 11】

グラム陰性菌がビブリオ (Vibrio) 族の細菌菌、サルモネラ (Salmonella) 属の細菌、赤痢 (Shigella) 属の細菌、ナイセリア (Neisseria) 属の細菌、およびシュードモナス (Pseudomonas) 属の細菌からなる群より選択される、請求項9または10記載の組成物。

【請求項 1 2】

細菌病原体がグラム陽性菌である、請求項9記載の組成物。

【請求項 1 3】

グラム陽性菌がバシラス (Bacillus) 族の細菌菌、ブドウ球菌 (Staphylococcus) 属の細菌、クロストリジウム (Clostridium) 属の細菌およびヘモフィルス (Haemophilus) 属の細菌からなる群より選択される、請求項9または12記載の組成物。

【請求項 1 4】

医薬としての使用のための請求項 1 ～ 7 のいずれか一項記載の組成物。